



▲信号と左右を確認。手をあげて出発。しっかりと練習しました

横断歩道の渡り方、覚えてよ！

大浦小学校交通安全教室

6月26日、大浦小学校で交通安全教室が開かれ、1年生14人が参加しました。

同校は、交通安全に力を入れている県内有数の学校です。この教室は、入学したばかりの新1年生が交通ルールを正しく理解し、安全に登下校ができるようにするために開かれています。この日は、田川警察署交通課の職員がゲストティーチャーとして来校。子どもたちは、クイズで道路標識や信号などを覚えたり、仮設の横断歩道を使って渡り方の練習をしたりして交通ルールを学びました。教室の最後には「横断歩道を渡ります」「飛び出しはしません」「知らない人にはついていきません」という3つの約束を宣言しました。

空き家などの利活用で地域を活性化

株式会社LIFULLと連携協定を締結

7月10日、株式会社LIFULLと市が「空き家等の利活用を通じた地域活性化連携協定」を結びました。

本市は、市内で増加している空き家・空き店舗などを活用した移住・定住・起業などの施策の充実を図るため、民間企業の力を活用。不動産・住宅情報サイトを運営する株式会社LIFULL（本社：東京都）と協定を結びました。同社の専門的知見や情報ネットワークを活用して、物件情報の掘り起こし・物件情報の全国的な発信・空き家などのマッチングに取り組みます。

また、空き店舗の活用を担う地域おこし協力隊の募集や隊員の人材育成も同社が担い、地域活性化を支援します。



▲協定書を手にする株LIFULLの後藤大夢さん(左)と二橋市長(右)

狙いを定めて、一射入魂

福岡県小中学生アーチェリー記録会

7月23日、市弓道場遠的場で「2020年度福岡県小中学生アーチェリー記録会」が行われました。これは、本年静岡県で行われる全日本ゴールデンエイジカップアーチェリー大会への出場をかけた記録会です。この日は、北九州市や筑紫野市などから全国で活躍する選手など11人が参加し、同大会への出場を目指し奮闘しました。

双子姉妹で、新たにアーチェリーの練習場として使用されている市弓道場で練習を重ねる二橋大花さんと真音衣さん(いずれも猪位金学園7年生)は、「この場所で練習ができるようになって練習時間も増えました。さらに点数を上げて、全国大会を目指します」と声をそろえました。



▲集中力を高め、心を込めた矢を放つ参加者たち